

2022 / vol.16

CONTENTS

- 発刊にあたって
- 医師着任のご紹介
- TOPICS／部門紹介
 - ・呼吸器外科～気胸センター～
 - ・腫瘍内科・糖尿病内科・脳神経内科
- 医師紹介
- 「心不全診療サポートチーム」の取り組み
- レベルの高い低侵襲性治療を目指す循環器疾患診療のチーム医療

News Letter

医療機関向け広報誌



発刊にあたって

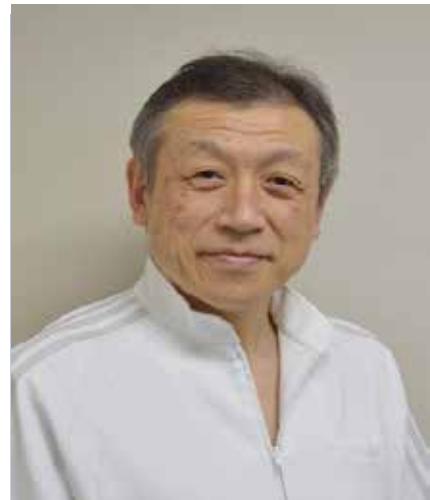
当院は札幌市西区宮の沢に脳卒中、心臓病、がんの三大疾病と運動器を中心とした高度急性期病院として誕生し、6年目を迎えます。

日々札幌市西区を中心とした地域医療、救急医療に微力ながら協力させて頂いております。これもひとえに皆様の温かいご支援、ご指導があったからと感謝致しております。

今後も低侵襲で患者様に優しく、安全で負担の少ない医療の提供を行ってまいります。そして地域から期待され担うべき役割、医療機能を発揮し、医療と介護、切れ目のない地域との連携を積極的に取り組み、地域から信頼される病院を目指してまいります。

コロナ禍はまだ続くと思いますが、医療の進歩や社会のニーズの変化とともに変革を遂げ、皆様に寄りそう医療を提供できるよう日々精進していきたいと存じます。今後もどうか変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

今年度着任しました医師をご紹介させていただきます。

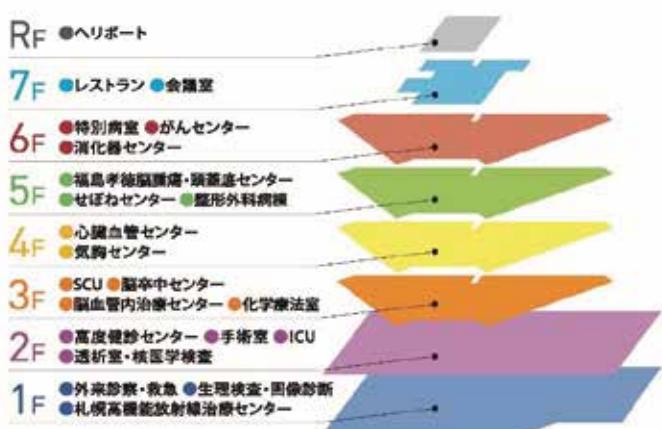


社会医療法人 孝仁会
北海道大野記念病院

院長 入江 伸介



[フロア図]



●主要対象疾患

がん、脳卒中、心臓病の三大疾病と運動器疾患

●診療科紹介（専門外来含む）

<外科>

脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脊椎脊髄外科、呼吸器外科、外科、頭頸部外科・耳鼻咽喉科、婦人科、乳腺外科、泌尿器科、形成外科

<内科>

循環器内科、脳神経内科、消化器内科、呼吸器内科、内科、糖尿病内科、腎臓内科、腫瘍内科

<その他>

麻酔科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科、リハビリテーション科、東洋医学診療科、臨床検査科、救急医療部

●健診事業

人間ドック、特定健診に加え、脳ドック、心臓ドック、PET-CTを駆使したがんPET/CTドック、レディースPET/CTコース（マンモPET）など
最新の医療機器を用いた高度な健診事業

受診・入院のご紹介は医療連携相談部をご活用下さい
電話011-665-0020 FAX011-665-0123

医師着任のご紹介



心臓血管外科に着任した渡邊隼です。成人心臓血管外科、特に小開胸による低侵襲手術（冠動脈バイパス術、弁膜症手術）を研鑽してまいりました。一人でも多くの北海道の皆様の健康に貢献したいと思います。
よろしくお願ひ申し上げます。

心臓血管外科医師 渡邊 隼



本年より病理診断科に入職した高橋秀史（しゅうじ）と申します。ここに来る前には、道立子ども総合医療・療育センターで9年、その前には現在のJCHO北辰病院で病理を担当していました。よろしくお願ひいたします

病理診断科医師 高橋 秀史



本年より北海道大野記念病院循環器内科に着任致しました。秋田大学卒業後、北大循環器内科の門をたたき、心エコー研究を行いながら、心不全・弁膜症・構造的心疾患診療に従事してきました。地域の皆様に貢献できるよう精進して参ります。

循環器内科医師 辻永 慎吾



私は山梨大学を卒業後、山梨県内で研修を行い、循環器内科として更なる研鑽を積むため、国立循環器病研究センターで勤務しました。患者様ごとに適切な医療を提供して参ります。お気軽にご相談ください。どうぞ宜しくお願ひ致します。

循環器内科医師 村田 有



今年度より北海道大野記念病院で勤務している芥川です。女性を一生涯に渡って診ていくのが、産婦人科医の役目と言われています。今までの経験を生かしながら、地域に密着した医療を目指していきます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

婦人科医師 芥川 典之

消化器外科に着任いたしました蔵谷大輔と申します。腹腔鏡下での消化管手術をはじめ肝胆脾、ヘルニアから外傷等の救急疾患まで、幅広い領域で地域の医療に貢献したいと考えております。よろしくお願ひ申し上げます。

消化器外科医師 蔵谷 大輔

赴任して驚いたのは、放射線技師さんの人数と技量の高さです。ラジエーションハウスが想起されます。また、CT、MRI、PETCT、核医学と検査機器も揃っていて、まだ興奮しています。画像環境が揃っている当院にて、与えられた機会を活かせるように努力し、診療に貢献していきます。

放射線科医師 小川 久美

4月より着任致しました麻酔科の森です。専門は臨床麻酔全般ですが、大学病院勤務時代には、特に心臓麻酔に関わる業務に多く携わってきましたので、当院でもその経験を活かせるよう尽力していきたいと考えております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

麻酔科医師 森 敏洋

TOPICS
部門紹介

呼吸器外科医師
三品 泰二郎

ブラが小さい場合には肺を切除しない手術を行います



デジタルモニターにより空気漏れを定量化できる小型ポータブル持続吸引器（トバーズ®）を導入

呼吸器外科～気胸センター～

気胸に対する低侵襲な医療の提供を行って参ります。

気胸発症は若年男性に多く認められますが、男性は痛みに弱いため、当院では患者さんと相談した上で、痛みを伴う治療は以下の方法で回避します。

- ・可能な限り胸腔ドレンの挿入を回避します
- ・軽度気胸の場合はドレンを挿入しません
- ・繰り返す場合には術前ドレン挿入せずに予定手術を検討します
- ・可能な限り胸腔ドレンの挿入時間の短縮に努めます
- ・空気漏れ持続がなければ最短4時間でドレンを抜去します
- ・入院期間の短縮に努めます
- ・ドレナージが必要な場合も最短で日帰り入院が可能です
- ・手術の場合は、入院日に手術を行い最短翌日退院が可能です
- ・本人の都合に合わせた治療を行います
- ・社会人では仕事の繁忙期を避けて、学生の場合は受験・定期試験を避けて治療を計画します
- ・両側気胸に対して同時1期的手術を行うことが可能です
- ・左右別々に2回の手術を行わず、1回の手術・全身麻酔で同時に手術を行うことが可能です
- ・対側気胸を発症していないくとも、明らかなブラがある場合には、患者さんと相談の上、予防的同時1期的手術を行うことが可能です

腫瘍内科

北海道大野記念病院腫瘍内科は、がんの検査、診断を行います。がん治療は、他専門診療科や北海道大学病院との連携によって適切に治療を行います。



● 担当医 北海道大学病院 腫瘍内科医師

● 外来診療

初診患者さんおよび再診患者さんについて、検査、診断、他病院からの紹介受診、セカンド・オピニオンなど、幅広く対応しております。

治療方針決定後、専門の他診療科や北海道大学病院との連携によって治療を開始します。是非とも、腫瘍内科へご紹介お願い致します。

● がんの治療

外科療法・放射線療法・薬物療法・症状緩和療法がありますが、それぞれ単独では十分な治療成績が期待できないこともあります。

患者さんごとに病状を把握し、最適な治療を選択し必要に応じて組み合わせた集学的治療を実施することで最善の治療を受けていただくことができると思っております。

● 対象

血液疾患以外の固形がん（肺がん、食道がん・胃がん・大腸がんをはじめとする消化器癌、頭頸部がん、乳がん、悪性軟部腫瘍、原発不明がんなど）

診療日							※予約制
	月	火	水	木	金	土	
午後	●		●	●		●	



TOPICS
部門紹介

糖尿病内科

糖尿病内科医師
牧田 興志

令和4年4月1日より糖尿病内科に着任致しました
牧田興志と申します。
連携医療機関の皆様にご迷惑をおかけすることが
あると思いますが、何卒よろしくお願ひします。

診療日							※原則予約制
	月	火	水	木	金	土	
AM	●	●		●			
PM					●		

平成25年に弘前大学を卒業し、青森県内の市中病院や弘前大学病院で糖尿病患者さんをメインに診療を行っておりました。青森県では多くの糖尿病患者さんを診療してきましたが、糖尿病治療は患者さんの生活に踏み込んで食生活や運動習慣などを変えていかなければならず、治療の難しさを日々感じております。

当院は数年糖尿病内科医師が不在であったこともあり、今後はシステムの構築や糖尿病の専門知識を有するスタッフの育成などにも尽力したいと思います。

治療にも関わらず合併症が進行する、初診時で合併症が進行している、といった症例の場合は循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科との連携により、合併症治療への道筋も相談していきます。まだまだ若輩者で力が及ばないことが多いあると思いますが、周囲の先生方、医療スタッフの方々に教えを乞いながら頑張っていきたいと思っています。

脳神経内科

脳神経内科医師
柏木 基

MRガイド下集束超音波治療 FUSについて

本態性振戦、パーキンソン病*ともに保険診療の対象です

*パーキンソン病における振戦症状、運動症状の緩和が対象

切らすに治す、被ばくの心配はなく安全に



診療日							※予約制
	月	火	水	木	金	土	
PM	●	●	●	●			

● FUS (エフユーエス)

本態性振戦とパーキンソン病による手のふるえの症状を軽減させる、

MRガイド下集束超音波治療 (FUS) です

MRIの正確さと、体への負担が少ない超音波を組み合わせた、新しい治療法です

● 超音波を一点に集束させて照射

超音波発生素子が埋め込まれた治療ヘルメットを頭に固定し、ふるえの原因となる脳の視床にある異常回路を、超音波を一点に集束させて照射して治療します

従来の手術療法のように頭蓋骨に孔をあける（穿孔する）必要がないため、出血や感染症のリスクが少ないと考えられます

治療は麻酔を使わない覚醒下で行われ、治療中は患者さんと医師が対話しながら、安全性と効果を確認します

医師紹介

脳神経外科

- ・福島孝徳 脳腫瘍・頭蓋底センター長 福島 孝徳
- ・社会医療法人孝仁会 理事長 斎藤 孝次
- ・院長 兼 福島孝徳 脳腫瘍・頭蓋底センター長 入江 伸介
- ・統括診療部長 兼 脳血管内治療センター長 片岡 丈人
- ・主任医長 寺川 雄三
- ・医長 高平 一樹
- ・医師 野呂 昇平

心臓血管外科

- ・主任診療部長 兼 心臓血管センター長 伊藤 寿朗
- ・診療部長 横山 秀雄
- ・診療部長 鈴木 正人
- ・医長 森本 清貴
- ・医長 渡邊 隼
- ・医師 高柳 涼
- ・医師 杉木 健司

消化器外科

- ・主任診療部長 小林 裕明
- ・主任医長 蔵谷 大輔

整形外科

- ・診療部長 目良 紳介
- ・医長 岡崎 俊一郎
- ・医長 阿久津 祐子
- ・釧路孝仁会記念病院 整形外科 部長 武田 真太郎

脊椎脊髄外科

- ・釧路孝仁会記念病院脊髄脊椎センター長 中川 洋
- ・診療部長 村上 友宏
- ・医長 早瀬 仁志
- ・非常勤医師 金子 高久

呼吸器外科

- ・医長 三品 泰二郎

頭頸部外科・耳鼻咽喉科

- ・主任医長 今野 信宏

婦人科

- ・診療部長 芥川 典之

乳腺外科

- ・診療部長 小宮 裕文

泌尿器科

- ・非常勤医師

形成外科

- ・医長 中川 駿文

循環器内科

- | | |
|------------------|-------|
| ・副院長 兼 心臓血管センター長 | 山下 武廣 |
| ・統括診療部長 | 長島 雅人 |
| ・診療部長 | 大艸 孝則 |
| ・主任医長 | 岩切 直樹 |
| ・主任医長 | 三山 博史 |
| ・医長 | 前野 大志 |
| ・医師 | 吳林 英悟 |
| ・医師 | 村田 有 |
| 医長 | 長堀 亘 |
| 医長 | 三浦 史郎 |
| 医師 | 辻永 真吾 |
| 顧問 | 中川 俊昭 |

消化器内科

- ・主任診療部長 後藤 学
- ・医師 平池 則雄

脳神経内科

- ・診療部長 柏木 基

呼吸器内科

- ・医師 三品 壽雄

糖尿病内科

- ・医師 牧田 興志

内科

- ・主任診療部長 兼 高度健診センター長 高柳 俊明
- ・医師 尾形 仁子 非常勤医師 太田 るみ子

腎臓内科

- ・非常勤医師

麻酔科

- | | |
|---------------|---------|
| ・主任診療部長 原澤 克己 | 医長 森 敏洋 |
| ・医師 十河 大悟 | |

放射線治療科

- ・副院長 兼 札幌高機能放射線治療センター長 岸 和史
- ・技監 溝江 純悦 医師 相川 剛亮
- ・エグゼクティブアドバイザー 小牧 律子

放射線診断科

- ・診療部長 宮崎 知保子 医長 山本 和香子
- ・医師 小川 久美

病理診断科

- ・診療部長 高橋 秀史

東洋医学診療科

- ・医長 泉里 友文

臨床検査科

- ・臨床検査部 部長 兼 主任診療部長 横山 繁昭

腫瘍内科

- ・北海道大学病院 腫瘍内科医師

北海道大野記念病院 「心不全診療サポートチーム」の取り組み

北海道大野記念病院の心不全診療サポートチーム（HST）は委員会として5年前に発足し、多職種でのカンファランス、地域連携・患者教育、心不全手帳活用、緩和ケア、外来フォローシート導入、心不全療養指導士の育成支援などを行ってきました。今年は心臓リハビリテーション部門への看護師の積極的参加、心不全教室、アドバンスドケアプランニング（人生会議）を重点課題として活動しています。

循環器診療、高齢者診療上今後ますます必要となってくる部門として、心不全教室を定期的に開催し、より良いものに発展させていきたいと思います。

心不全診療サポート（HST）委員会
委員長 循環器内科 大艸 孝則

集団指導として心不全教室を開催し、患者様が今まで行ってきた疾病管理方法の確認や、今後避けては通れない、もしものときの人生会議についてお話ししいたしました。

心不全に至った背景や年齢は様々でしたが、患者様それぞれに病の軌跡があり、大事にしている価値や今後どのように生活をしていきたいかをお互いに語っていただき、病気で悩んでいるのは一人ではないことを実感していただけました。

心不全教室を通して患者様の困りごとや相談しやすい環境を作り、益々増加する心不全患者様がその人らしい生活が最期まで送れるよう活動してまいります。

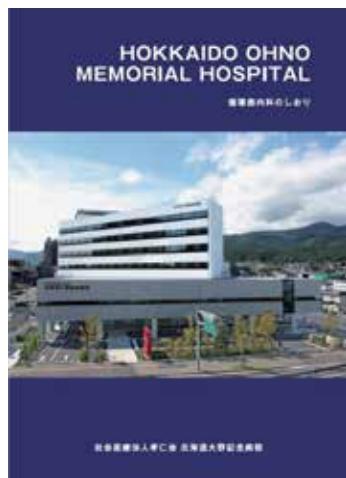
慢性心不全看護認定看護師 小林 香



慢性心不全看護認定看護師
小林 香

心不全療養指導士
高村悠平

レベルの高い低侵襲治療を目指す。 循環器疾患診療のチーム医療。



循環器内科は心血管疾患を内科的に診断・治療する診療科です。狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患や弁膜症、心筋症、心不全、各種不整脈、高血圧、大動脈疾患、末梢血管疾患など、多くの疾患を担当します。心臓血管外科との30年にわたる有機的な協働により確立した循環器疾患診療チームは、急性心筋梗塞や急性大動脈解離、急性心不全などの心血管救急疾患に24時間体制で対応します。



社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院
副院長 兼 心臓血管センター長

山下 武廣 Takehiro Yamashita

低侵襲治療として普及が進む経皮の大動脈弁挿入術（TAVI）はもちろん、構造的心疾患インターベンション治療として、経皮的僧帽弁接合不全修復術（Mitra Clip）、経皮的心房中隔欠損（ASD）閉鎖術、経皮的卵円孔閉鎖術（PFO）閉鎖術、経皮的左心耳閉鎖術（LAAC）を積極的に施行いたします。器具の細径化、アプローチ部位の選定、止血デバイスの積極使用、さらには新規認証器具の早期導入を通じてさらなる低侵襲化とハイレベル化を目指します。

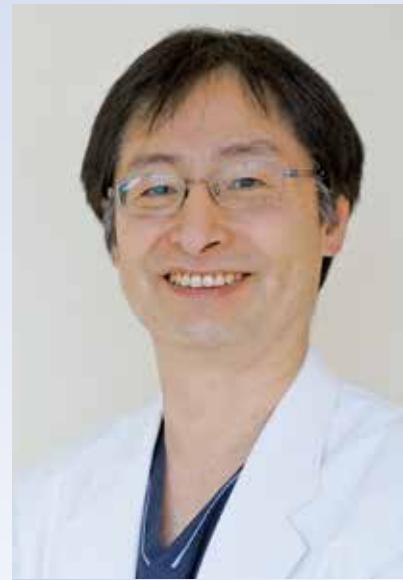
医療連携相談部より

日頃より当院の運営に御協力頂き、ありがとうございます。おかげさまで現在当院は、386施設と提携医療機関登録を結んで頂いております。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

医療連携相談部は、医師1名看護師5名社会福祉士4名事務職員2名で構成されており、主に入退院時の他院や診療所からの患者様の受け入れと逆紹介、退院時の医療介護の調整などの業務にあたっております。コロナ禍で面会が難しい状態となっており、連携医療施設とのカンファレンスや面談の際には情報通信機器を用いたオンラインにも対応しております。

これまで以上に地域の連携医療施設と当院の間で機能の分担と円滑な連携を図りながら、地域住民の方々に適切な医療を提供していきたいと思っております。今後とも皆様から信頼して頂けるよう、職員一同研鑽してまいりますので、御指導よろしくお願ひ致します。

当院に対しての、御要望等ありましたら、どうぞ御遠慮なく、医療連携相談部まで御連絡下さい。



医療連携相談部 部長
長島 雅人

医療連携相談室への電話またはFAXにより、地域医療機関からの診療・検査の予約を行っております

ご紹介いただきました患者様につきましては、当院での精査加療後が終わりました際に、ご紹介いただきました元の医療機関での治療継続をお願いすることとしております

当院への患者様受け入れのご要望・ご相談
北海道大野記念病院 医療連携相談室

電話：011-665-0020 (代表)
FAX：011-665-0123 (直通)

【受付時間】 平日 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00

診療情報提供書、PET検査申込書の書式は、当院ホームページよりダウンロードしご活用ください

患者様のご紹介は診療情報提供書を
医療連携相談部へFAXにてお送りください。

FAX直通番号

011-665-0123

北海道大野記念病院 News Letter

vol.16 2022年9月発行

発行者

社会医療法人 孝仁会
北海道大野記念病院 医療連携相談部

〒063-0052 札幌市西区宮の沢2条1丁目16番1号

☎011-665-0020(代) ☎011-665-0242

<http://ohno-kinen.jp> 北海道大野記念病院 検索

アクセス・周辺マップ

■バス

JR北海道バスまたは
北海道中央バス
「西町北20丁目」停下車、
徒歩約2分

■地下鉄

東西線「宮の沢」駅
5番出口から徒歩約6分
(地下道は
「ちえりあ」まで直結)

